令和０６年度　第３回　王子警察署協議会　議事概要			
開催日時	令和０６年１２月１２日　午後03時00分～午後04時30分		
開催場所	王子警察署　講堂	出席者	協議会委員　９名 署長ほか　２名
内　容			

[業務説明]

１　前回会議での質問に対する回答
　災害時の行政機関ごとの役割
（１）防災や発災時において警察、消防、区はそれぞれの役割があり、各機関が日頃から連絡を密にしている。
（２）有事の際に、密接に関わり合いながら迅速・的確に活動できるよう対策を講じている。
２　台風期における風水害対策
（１）風水害事前対策
　ア　交番勤務員が吸水性土嚢（どのう）の工作・設置方法を確認
　イ　資器材の点検、稼動訓練を実施
（２）署員による各種訓練
　ア　装備資器材習熟訓練
　　救出救助部隊員の対応力向上
　イ　車両避難訓練
　　河川の氾濫による水害を想定
　ウ　心肺蘇生・ＡＥＤ使用訓練
　　消防署員の指導の下に実施
（３）広報啓発活動
　ア　町会、自治会の集会での防災講話
　　署員が出向いて身近な防災術等を紹介
　イ　祭礼やイベントでの広報
　　会場で防災チラシやグッズを配布
　ウ　外国人コミュニティとの協働
　　コミュニティの代表者を招いて炊き出し、ＡＥＤ訓練を実施
３　１１０番通報の現状と＃９１１０の利用
（１）１１０番通報受理件数
　令和５年中の都内及び当署の受理件数
（２）当署の受理傾向
　騒音苦情、パトロール要望、交通物件事故、駐車違反に対する苦情等が多数
（３）通報の種類
　ア　緊急ダイヤル「１１０番」
　イ　警察相談ダイヤル「＃９１１０」
４　管内の治安情勢
（１）交通事故発生状況
　交通人身事故、交通物件事故ともに前年比で若干増加
（２）主な犯罪発生状況
　自転車盗が大きく増加
（３）特殊詐欺
　ア　発生は前年比で若干増加
　イ　検挙状況と未然防止状況

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

１　署長から協議会への説明内容
（１）改正道路交通法の周知と飲酒運転取締りの強化
　ア　１１月１日施行の改正道路交通法による新たな罰則「自転車の飲酒運転等」、「自転車運転中の携帯電話等の使用」等の周知を推進
　イ　年末は、飲酒機会の増加により飲酒運転に起因する交通事故が多発傾向にあるため、飲酒運転に対する取締りを強化
（２）特殊詐欺等の発生と対策
　ア　特殊詐欺の発生状況

（ア）手口の種類と手口別の発生状況
（イ）年間（令和６年）の詳細な被害状況は次回報告
イ　被害防止対策
（ア）アポ電入電時の車両広報、ＡＴＭへの固定配置
（イ）キャンペーン、防犯講話等の広報啓発活動
ウ　強盗事件に関する情報発信
（ア）関東圏で多発している強盗事件が体感治安を悪化
（イ）被害に遭わないための具体的対策を含めて情報を発信

２　警察署協議会からの意見要望等
（１）改正道路交通法の周知について
ア　駐輪場や酒類提供店にポスターを掲示するなど広報啓発に努めてほしい。
イ　職務質問や検問により自転車の取締りを実施してほしい。
（２）特殊詐欺対策等について
ア　被害の状況は昨年と同程度とのことだが、更なる対策を実施してほしい。
イ　強盗事件の多発に住民は不安を感じているので、警察から情報を教えてもらって委員からも周知したい。

[その他の意見要望等]

なし

その他	令和６年度第４回会議は令和７年３月開催予定

※　詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和０６年度　第２回　王子警察署協議会　議事概要			
開催日時	令和０６年０９月２７日　午後03時00分～午後04時30分		
開催場所	王子警察署　講堂	出席者	協議会委員　９名 署長ほか　２名
内　容			

[業務説明]

１　夏休みに向けた子供の交通事故防止対策等の推進
（１）園児・小学生に対する交通安全教室
　ア　横断歩道の渡り方や標識の種類・意味について指導
　イ　模擬信号などを活用した歩行訓練
（２）生徒・児童への広報啓発
　ア　小学校の全校朝礼や給食時間の放送で、夏休みの交通事故防止を呼び掛け
　イ　夏祭り会場における交通安全の広報啓発
（３）交通少年団による活動
　ア　打ち水をしながら交通事故防止の呼び掛けを実施
　イ　ホテルでの青年会議所の式典で鼓笛とバトントワリングを披露
（４）飲酒運転撲滅対策
　ア　管内企業に署員を派遣して、飲酒運転撲滅や子供の交通特性について講話
　イ　管内の酒類提供店舗に広報グッズを配布し来店者への呼び掛けを依頼
（５）「通学路安全運転呼びかけ隊」の結成
　ア　新設された通学路安全運転呼びかけ隊に委嘱状を交付
　イ　現在までの設置及び活動の状況
２　特殊詐欺対策
（１）被害防止キャンペーン
　ア　祭礼会場における広報啓発活動
　　（ア）特殊詐欺の手口の説明
　　（イ）被害防止グッズやチラシの配布
　イ　関係機関との協働
　　（ア）当署野球部員と管内高校の野球部員が特殊詐欺や闇バイトへの注意喚起
　　（イ）署員と金融機関職員が年金支給日に合わせて被害防止キャンペーン
（２）防犯講話の実施
　ア　町会やアパートマンション防犯協力会員の会合に署員を派遣
　イ　自動通話録音機の設置促進等を呼び掛け
（３）効果的な広報啓発
　ア　デジタルサイネージの活用
　　コミュニティバスや区役所のデジタルサイネージでの、闇バイトに対する注意喚起、警視庁防犯アプリ「デジポリス」の利用促進
　イ　署員の戸別訪問や架電による注意喚起
　　署員一人当たり約４０軒の高齢者宅を割り当て被害防止の注意喚起
（４）未然防止と犯人検挙
　ア　未然防止と検挙の状況
　イ　コンビニエンスストア店員や金融機関職員による被害未然防止事例
　ウ　協力者に対する感謝状の贈呈
３　管内の治安情勢
（１）交通事故発生状況
（２）主な犯罪発生状況

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

１　署長から協議会への説明内容
（１）台風期における風水害対策
　ア　異常気象等の影響
　　近年の異常気象等により、国内各地で猛烈な大雨や台風が発生し、洪水や土砂崩れ等の被害が頻発している。
　イ　当署管内への影響
　　今後、台風等で荒川が決壊した場合、管内の大半が水没して甚大な被害が予想されるため、被害を想定した各種対策を進める必要がある。

（２）１１０番通報の現状と＃９１１０の利用
ア　当署の１１０番受理状況
多岐に渡る通報内容と警察官の様々な活動
イ　＃９１１０の利用
（ア）急を要しない心配事などのための警察相談ダイヤル
（イ）相談ダイヤルの利用促進が、１１０番の適正な運用、真に警察官を待つ人のもとへの一刻も早い到着につながる。

２　警察署協議会からの意見要望等
（１）災害対策について
ア　台風期における風水害対策
王子署管内も大きな河川があり、いつ大きな被害が発生してもおかしくないので、住民を守るために各種対策を進めてほしい。
イ　避難場所の車両広報
災害時に車両で広報する際は避難場所についても広報してほしい。
ウ　自治体、警察、消防の役割分担
区と警察、消防の防災における「棲み分け」について教えてほしい。
（次回会議で説明予定）
（２）１１０番通報について
ア　管内に居住したり、勤務したりする人は、１１０番通報の現状や、それに対応する警察官の活動に関心があるので、本日の説明は興味深いものだった。
イ　１１０番通報を分析し、管内の安全・安心を守る各種対策を推進してほしい。

[その他の意見要望等]

１　交通事故防止について
（１）街路樹が道路にはみ出して危険な箇所を見つけた場合にはどうすれば良いか。
【回答】道路管理者に申し入れをするので連絡してほしい。
（２）大きな幹線道路の横断歩道では交通ルールを守らない自転車利用者が多いので、警察官が駐留して注意してほしい。
【回答】警察官が付近を通る際など、あらゆる機会に注意していく。
２　身近な安全・安心について
（１）アパートの敷地内に長期間自転車が放置されているが、どうしたらよいか。
【回答】警察に通報していただければ、確認して対応する。
（２）豊島５丁目駐在所は警察官が常駐していないが、付近に大きな団地があり、高齢者も多く心配している。
【回答】勤務員が不在の場合は、近くの交番勤務員やパトカー勤務員が迅速に対応するので、安心してほしい。
（３）十条地区の高層マンション建設によって強いビル風が吹くことがあるので、交番勤務員や付近の人が怪我をしないように対策を講じてほしい。
【回答】負傷者が出ないよう注意喚起していく。

その他	令和６年度第３回会議は１２月開催予定

※　詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和０６年度　第１回　王子警察署協議会　議事概要			
開催日時	令和０６年０６月０５日　午後03時00分～午後04時30分		
開催場所	王子警察署　講堂	出席者	協議会委員　8名 署長ほか　2名
内　容			

[業務説明]

１　前回の協議会における質問への回答
震災訓練等の防災における警察と消防の役割や訓練は、それぞれの立場で異なるものの、実務上、現場では連携、協力しながら活動している。
町会等で防災訓練を計画する際は、実施内容を含め、その都度相談してほしい。
２　子供の重大交通事故防止対策の推進について
（１）保護者に対する交通安全教室
ア　小学校の新入学児童の保護者説明会や町会の会合に署員を派遣し、各家庭で交通事故防止意識の向上を図るよう呼び掛け
イ　保育園に依頼して、自転車の安全な乗り方に関するチラシを自転車で園児を送迎する保護者に対して配布するとともに駐輪場に掲示
（２）子供に対する交通安全教室
ア　効果的な実施
（ア）北区少年野球大会の参加児童に対する自転車交通安全教室
（イ）小学校での体験型教室
・　署員を派遣して新一年生と校外において歩行訓練
・　トラックを展示し、児童が乗車して死角体験、巻き込み事故の説明
イ　模範となる少年に対する表彰
交通少年団員の卒団式で、警視庁交通部長の感謝状と記念品を授与
（３）春の全国交通安全運動における活動
ア　「王子交通安全のつどい」
俳優の高島礼子さんを一日警察署長に迎え、高齢者の事故防止を呼び掛けた。
イ　春の全国交通安全運動出動式
交通安全協会と協働し、白バイやパトカーが赤色灯点灯走行しながら交通事故防止を呼び掛けた。
ウ　高校生に対する自転車安全指導
署員が高校で自転車の乗り方を指導し、自転車保険加入の重要性を説明した。
３　大規模災害を想定した各種対策の推進について
（１）署員を派遣しての防災指導
ア　町会の会合で、避難場所や避難経路の確認、非常持ち出し品の準備、非常食の備蓄とローリングストック等について講話
イ　日本語学校の留学生に対して、災害発生時に通訳として日本語が話せない外国人を避難誘導するよう依頼
（２）広報啓発活動
ア　「災害に強い街づくり」に向けた活動
商店街での防災パレード、北区と協働した広報等を実施
イ　災害対策セミナーの開催
当庁災害対策課から講師を招いて実施
ウ　視覚に訴える広報
当署ロビーに設置したモニター、鉄道駅のデジタルサイネージを活用
（３）防災訓練・教養
ア　職場体験に参加した大学生に対して、災害時に役立つロープワークや災害対策資材を紹介
イ　消防署から指導員を招致して署員が救命救急訓練を実施
４　管内の治安情勢
（１）交通事故発生状況
（２）指定重点犯罪の発生状況
（３）特殊詐欺の検挙・未然防止

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

１　署長から協議会への説明内容

（１）夏休みに向けた子供の交通事故防止対策
ア　例年の傾向
４月から７月にかけて子供の事故が増加
イ　当署管内の特徴
公園付近や住宅街での事故が多く、夏休みを迎えるにあたり、子供を当事者とする事故防止対策が必要
ウ　「通学路安全運転呼びかけ隊」の普及促進
通学路で運転手に対し安全運転を呼び掛ける同隊の結成を促し、子供を守るための対策を推進
（２）特殊詐欺対策
ア　本年の管内情勢
（ア）被害件数は前年を上回るペースで増加し、被害額も高額に上っている。
（イ）被害に遭わないまでも「アポ電」に関する情報が多数寄せられている。
イ　新たな手口への対応
犯人グループは警察の対策を察知して手口を変えてくるため、あらゆる対策を地道に実施していく必要がある。
２　警察署協議会からの意見要望等
（１）交通事故防止対策
ア　子供の事故防止
（ア）家族の運転する車にひかれて亡くなる子供のニュースをよく耳にするので、自分の家の周りでも十分に気をつけるよう広報を実施してほしい。
（イ）夏休みに入る前に、子供たちに対する様々な活動を進めてほしい。
イ　広報啓発の推進
（ア）子供の交通安全教育はもちろん、大人への広報啓発も推進してほしい。
（イ）自転車について、走行ルールや軽車両であるとの認識が浸透していないように感じるので、各種広報や対策を実施してほしい。
（２）特殊詐欺対策
ア　最新の情勢を捉えた対策
（ア）高齢者世帯に新たな手口の電話が掛かってきているので、新たな手口に対応する広報を実施してほしい。
（イ）定額減税、新紙幣発行等の新制度に乗じた詐欺の発生も懸念されるので、あらゆる対策を実施してほしい。
イ　効果的な広報
（ア）デジタルサイネージの活用等、インパクトのある広報を実施してほしい。
（イ）病院など高齢者が集まる場所での広報も必要だと思う。

[その他の意見要望等]

なし

その他	令和６年度第２回会議は９月開催予定

※　詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和０５年度　第４回　王子警察署協議会　議事概要			
開催日時	令和０６年０３月１２日　午後03時30分～ 午後05時00分		
開催場所	王子警察署　講堂	出席者	協議会委員　8名 署長ほか　1名
内　容			

[業務説明]

１　初詣をはじめとする各種雑踏警備の推進について
（１）「王子狐の行列」警備
ア　例年を上回る観衆だったが、大きな事故なく無事に警備を完遂した。
イ　今回の反省点を来年以降の警備に活かしたい。
（２）初詣警備
警備にあたった寺社では大きな混乱や事故は無かった。
（３）「北区二十歳のつどい」警備
ア　会場周辺で若干の滞留状況はあったが、警察官の整理誘導に従い、成人としての自覚をもった行動が見られた。
イ　特異な取扱い、関連する通報等も無かった。
（４）「初午祭」警備
ア　雑踏警備に当たりながら震災をはじめ災害対策について広報も実施した。
イ　特異な取扱いや事故は無かった。

２　特殊詐欺の発生状況と対策の推進について
（１）特殊詐欺の手口別認知件数（令和５年）
前年と比べ認知件数は若干増加した。
（２）町会における被害防止対策
ア　町会の会合において、防犯講話のほか、ＤＶＤ視聴、小道具を使用した被害状況の説明を実施している。
イ　町会員と署員が合同防犯パトロールを行い、被害防止チラシのポスティングを実施した。
（３）テジタルサイネージの活用
ア　鉄道会社の協力により駅ホーム上で被害防止のテロップを流した。
イ　管内大学構内の食堂等で闇バイトの動画を放映し、若者が犯罪に手を染めないための広報啓発活動を実施している。
（４）金融機関との協働
ア　金融機関職員を署に招き、声掛け等による被害防止について協力を要請した。
イ　年金支給日に金融機関を訪れた客に対し、金融機関職員と署員が合同でチラシを配布しながら被害防止について広報した。
ウ　金融機関と共同製作した被害防止広報ポスターを駅等に掲示している。
エ　詐欺を未然防止した金融機関職員に対して感謝状を贈呈した。

３　当署の管内情勢について
（１）犯罪の発生と検挙
ア　指定重点犯罪の発生状況
イ　特殊詐欺の検挙と未然防止の状況
（２）交通事故の発生と抑止対策
ア　交通事故発生状況
イ　駐車監視員活動ガイドライン
ウ　速度取締指針

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

１　署長から協議会への説明内容
（１）子供の重大交通事故防止対策の推進
ア　重傷事故の発生
昨年６月と本年１月に、いずれも小学生が重傷を負う交通事故が発生した。
イ　交通事故防止対策
新入学期を迎えるにあたり交通安全教育をはじめとした対策を推進する。
ウ　春の全国交通安全運動

来月実施される安全運動の重点にも「子供の安全確保」が挙げられている。

（２）大規模災害を想定した各種対策の推進

ア　関東大震災１００年

昨年９月１日、関東大震災の発災から１００年を迎えた。

イ　近年の大規模震災

東日本大震災、能登半島地震では、津波、広範囲にわたる家屋倒壊、火災等による多くの犠牲者が出た。

ウ　首都直下地震

今後、発生が予想される首都直下地震やその他の大規模災害に向けて、様々な対策を講じていく必要がある。

２　警察署協議会からの意見要望等

（１）子供の重大交通事故防止対策の推進について

ア　特に小学校の新１年生などは、親の送迎から離れて一人で登校するようになったり、自転車での行動範囲が広がったりして、今まで経験しなかった多くの危険に遭遇する可能性がある。

イ　子供の親たちが交通ルールを守れていない状況を目にするので、子供だけではなく、その親にも交通安全教育などを実施してほしい。

（２）大規模災害を想定した各種対策の推進について

ア　能登半島地震は記憶に新しく、未だ水道や電気が復旧しない世帯があったり、仮設住宅も整備されていなかったりと被災地の方々は厳しい状況にある。

イ　最近は千葉県沖で地震が頻発するなど、いつどこで大地震が発生してもおかしくない状況なので、有事の際に住民等を守るための各種対策を推進してほしい。

[その他の意見要望等]

震災を含めた防災訓練は消防も実施しているところ、警察と消防の訓練や役割の違いがよく分からないので教えてほしい。
（確認の上、次回会議で説明予定）

その他	令和６年度第１回会議は、令和６年５月開催予定

※　詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和０５年度　第３回　王子警察署協議会　議事概要			
開催日時	令和０５年１２月０１日　午後03時45分～ 午後05時00分		
開催場所	王子警察署　講堂	出席者	協議会委員　9名 署長ほか　2名
内　容			

[業務説明]

１　前回の協議会で出された意見への取組について
（１）十条銀座商店街は歩行者専用標識が設置されているが、「自転車を除く」の補助標識があり、自転車利用者に降車してもらえないので、事故防止のため標識の変更を検討してほしい。
【取組】状況改善に向け、交通課員による現地調査を実施中である。
（２）小学生の下校時間に、宅配業者のバイクが一方通行路を逆走してるので、取締りを強化してほしい。
【取組】交通課員の配置時は違反車両の発見に至らなかったが、今後も当該箇所での取締りを継続する。
２　重大交通事故防止対策の強化推進について
（１）交通少年団の活動
ア　イベントでの広報啓発
（ア）国立オリンピック記念青少年総合センターでの発表会
２４警察署の交通少年団員が演奏やダンスを披露
（イ）北区民まつり
鼓笛演奏とバトン演技で地域住民に交通事故防止を呼び掛け
イ　交通事故防止のアナウンス
（ア）管内所在の駅の協力を得て実施
（イ）団員の声で録音し、交通事故防止の呼び掛けを駅構内で放送
（２）秋の全国交通安全運動に関する活動
ア　北区三警察署合同による「北区交通安全のつどい」
落語家の噺や警察職員の寸劇などで、参加者に交通安全を呼び掛けた。
イ　「秋の全国交通安全運動」出動式
（ア）交通安全協会員も出席
（イ）白バイやパトカーが赤色灯を点灯しながら走行
（ウ）交通事故防止広報を実施
ウ　住民と協働の道路清掃活動
交通ボランティアとともに道路環境の整備に努めた。
エ　二輪車ストップ作戦
（ア）管内の二輪車モデル交差点において実施
（イ）二輪車の運転手に対する交通安全指導
ヘルメットの正しい着用、すり抜け運転防止等、交通事故防止に関するワンポイントアドバイス
３　特殊詐欺の発生状況と対策の推進について
（１）特殊詐欺の手口別認知件数
１１月２６日現在、前年同期と比べ若干減少している。
（２）各種広報啓発活動
ア　祭り会場での広報活動
（ア）「団地祭り」会場の団地前広場で、特殊詐欺被害防止チラシや防犯グッズを配布した。
（イ）多くの児童が来場した企業主催の祭り会場で、親や祖父母世代に、積極的な被害防止広報を実施した。
イ　効果的な掲示
（ア）町会の掲示板に、最近増加しているサポート詐欺をはじめ、特殊詐欺の手口を紹介したチラシを掲示した。
（イ）当署１階エレベータードアに、特殊詐欺被害防止標語等を記載した、大型のマグネットを掲示した。
ウ　駅前広場での特殊詐欺被害防止キャンペーン
（ア）銀行職員や防犯ボランティアが参加してキャンペーンを実施した。
（イ）当署野球部員もユニホーム姿で参加し、特殊詐欺被害の「完封」をアピールする広報活動を実施した。

（３）防犯講話とポスティング
ア　コンビニエンスストア店員に対し、サポート詐欺の手口や被害未然防止のための声掛け要領等について講義した。
イ　町会の集まりに参加できない人や戸別訪問に対応しない人を対象に、被害防止チラシをポスティングした。
４　当署管内における交通事故発生状況について
５　犯罪の発生と検挙について
（１）指定重点犯罪の発生状況
（２）特殊詐欺の検挙と未然防止の状況

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

１　署長から協議会への説明内容
（１）初詣をはじめとする各種雑踏警備の推進
ア　新型コロナウィルス感染症の「５類感染症」への変更以降、中止や縮小開催となっていた祭礼や各種イベント等が再開され、その人出は増加傾向にあり、初詣等のイベントでも人出の増加が見込まれる。
イ　昨年、海外で、群衆が折り重なり多くの死者を出す雑踏事故が発生し、祭礼やイベント等に多数の人出が見込まれる場合には、同種事案の発生が懸念される。
ウ　的確な情勢判断の下、主催者等に対する積極的な指導・助言のほか、関係機関との連携を図り、あらゆる事態を想定し、各種警戒警備の万全を期す。
（２）特殊詐欺の発生状況と対策の推進
ア　現在の発生状況
発生件数が多く、被害額も高額にのぼり、危機的な状況にある。
イ　令和６年の被害抑止活動
次回会議までには本年の被害件数が確定するため、令和６年の被害抑止目標件数を示して、被害抑止活動を推進する。
２　警察署協議会からの意見要望等
（１）初詣をはじめとする各種雑踏警備の推進について
ア　コロナ禍で各種イベントが中止され、久しぶりに実施されるものもあるが、人の流れは、何年か経てば変化する。
イ　平穏に各種行事が行われるよう、適切な人材を充てるなど、万全の計画で警備に臨んでほしい。
（２）特殊詐欺の発生状況と対策の推進について
ア　車両による広報やＡＴＭへの固定警戒は、特殊詐欺被害防止に効果があると思うので、継続してほしい。
イ　限りある体制で特殊詐欺等に対応するのは難しいので、優先順位を見極め、事象の変化に応じて、リソース配分等の対応をしてほしい。
ウ　１年間の被害傾向を分析し、令和６年は、スタートから詐欺被害を抑え込むことができるよう対策を進めてほしい。

[その他の意見要望等]

１　大麻グミやクッキー等の報道が注目されるなか、特に中・高生に注意喚起し、対策を各学校に伝えてほしい。
【回答】若者に対する注意喚起を実施するとともに、新たな対策はその都度、各学校に提供していく。
２　王子駅近くの公園に数名が集まって飲酒、喫煙し、ゴミを放置する状況を見掛けるので、学生や生徒も多く通るため、対策を講じてほしい。
【回答】・地域課のパトロールを強化する。
・そのような状況を確認した場合は通報していただきたい。

その他	令和５年度第４回会議は、令和６年３月開催予定

※　詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和０５年度　第２回　王子警察署協議会　議事概要			
開催日時	令和０５年０９月１２日　午後03時00分～午後04時30分		
開催場所	王子警察署　講堂	出席者	協議会委員　8名 署長ほか　2名
内　容			

[業務説明]

１　前回の協議会で出された意見への回答について
「夏は児童公園周辺の樹木が生い茂り、特に、公園と道路の間の植栽が伸びると外から公園内が見えづらくなり、子供が犯罪に巻き込まれる恐れもあるので、区に対して申入れを行ってほしい。」
【回答】区の公園及び道路の樹木を管理する区の部署に申入れを実施した。

２　重大交通事故防止対策の強化推進について
（１）交通少年団統一行事「交通安全のつどい」の実施
ア　北・板橋・練馬各区内警察署の交通少年団員が集結
イ　交通安全宣言の読み上げや輪投げ大会で団員同士が交流
（２）管内小学校における各種活動
ア　各種訓練等による安全教育
模擬信号や横断歩道を設置しての歩行訓練、ＤＶＤ視聴や自転車テスト
イ　通学路の安全確認
登下校の道路で気をつけるポイントや起こりうる交通事故について意見を出し合い、危険箇所を確認
ウ　「通学路安全運転呼びかけ隊」
・　新たに結成された同隊の隊員に委嘱状を交付
・　通学路での保護誘導活動やドライバーに対する安全運転の呼び掛けを実施
エ　校内放送の活用
夏休み前に、給食時間帯の校内放送で、休暇中の交通事故防止を呼び掛け
オ　学童保育での安全教育
夏休み中、楽しみながら交通ルールを学ぶ、腹話術人形による講話、交通事故防止に関する信号ゲームを実施
（３）外国人や企業に対する交通安全教育
ア　日本語学校での周知
標識や信号の見方、自転車の乗り方等、日本での交通ルールを教養
イ　企業における講話
酒に酔った人が道路に寝込んでいた場合の対策、駐車対策、子供の動向に注意した運転について講話を実施
（４）広報啓発活動
ア　新聞販売所への依頼
子供の夏休み中の交通事故防止に関するチラシの配布を依頼
イ　交通ボランティア、交通少年団員
・　「打ち水」をしながら通行人に交通事故防止を呼び掛け
・　交通少年団員も、水をまき涼を得ながら、楽しそうに実施

３　風水害を想定した各種訓練の推進について
（１）各種災害対策訓練
ア　王子パートナーシップ参画団体と合同の隅田川における水上バスを利用した水害対策訓練
イ　河川の氾濫に備え、警察車両を管内ホームセンター駐車場まで避難させる訓練
ウ　荒川水域における大規模風水害発生に備えた要救助者の救助訓練及び資器材に関する知識技能向上訓練
（２）職場体験学習における訓練
ア　職場体験実習で来署した中学生に災害用工具を紹介
イ　ロープワーク訓練の体験により、若い世代の防災ボランティアを育成
（３）広報啓発活動
ボランティアの協力を得て、ゲリラ豪雨や台風シーズンに向け意識を高める各種パンフレットやチラシを配布

４　当署管内における交通事故発生状況について

５　指定重点犯罪の発生状況等について
（１）当署における指定重点犯罪の発生状況
（２）特殊詐欺の検挙状況、未然防止状況

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

１　署長から協議会への説明内容
（１）重大交通事故防止対策の強化推進について
ア　警視庁は「交通死亡事故ゼロを目指して～チャレンジ１２５～」をスローガンに掲げ、諸対策を推進中
イ　８月末現在、都内の交通事故による死者数は昨年同期と比べて増加傾向
ウ　当署における人身事故の発生件数も昨年より増加
エ　例年、年末に向け事故件数が増加する傾向
（２）特殊詐欺の発生状況と対策の推進について
ア　当署の特殊詐欺発生件数（８月末現在）
北区を管轄する３警察署中最多で、被害額も高額にのぼる。
イ　本年中の動向
５月までは発生を抑え込んでいたが、６月から被害が連続発生するなど急激に増加している。
２　警察署協議会からの意見要望等
（１）重大交通事故防止対策の強化推進について
ア　交通安全教育の推進強化
王子署は小学生への交通安全教室等を積極的に実施しているので、更に中学生へ自転車通行帯の走行方法を指導するなど各種対策を推進し、交通死亡事故ゼロを継続してほしい。
イ　歩行者の安全対策
・　十条銀座商店街は狭い道路に買い物客が多く、歩行者専用標識も設置され、自転車利用者に降車しての通行をお願いしているが、「自転車を除く」との補助標識があるため協力を求めにくいので、標識の変更を検討してほしい。
・　宅配業者のバイクが小学生の下校時間に一方通行路を逆走するのを目にするので、取締りを強化してほしい。
（２）特殊詐欺の発生状況と対策の推進について
犯人達も様々な手を使って騙そうとしてくるので、住民の安全を脅かす特殊詐欺の被害を一件でも減らせるよう強力に対策を進めてほしい。

[その他の意見要望等]

なし

その他	令和５年度第３回会議は、令和５年１２月開催予定

※　詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和05年度　第1回　王子警察署協議会　議事概要			
開催日時	令和05年06月06日　午後03時30分～午後04時45分		
開催場所	王子警察署　講堂	出席者	協議会委員　9名 署長ほか　2名

内　容

会議に先立ち、会長、副会長を互選した。

[業務説明]

1　子供を当事者とする重大交通事故防止対策の推進について
（1）管内小学校における各種活動
ア　「通学路安全運転呼びかけ隊」を結成し、小学校の通学路で保護誘導活動や車両のドライバーに対する安全運転の呼び掛けを実施している。
イ　新一年生に対し、横断歩行訓練や通学路での危険箇所の確認を行い、今後も繰り返し小学生に対する訓練を実施していく。
ウ　トラック協会と合同で交通安全教室を開催し、トラック運転者からの死角の説明や、実際に運転席に着座しての死角の体験を行った。
（2）交通少年団における安全教育
鼓笛隊団員の練習の際、登下校時における道路の歩き方をはじめ、交通安全教育を実施した。
（3）広報啓発活動
ア　管内所在駅のデジタルサイネージ、当署玄関ホールのウエルカム・ボードを活用し、自転車安全利用五則に関する広報を実施した。
イ　自転車販売店の協力を得て、自転車乗車時のヘルメット着用促進に関する広報を実施した。

2　特殊詐欺の発生状況と対策の推進について
（1）特殊詐欺の手口別認知件数
5月末現在、前年同時期と比べて減少している。
（2）各署広報啓発活動
ア　警備課主催のセミナーに、管内の住民や会社員を招き、特殊詐欺被害防止に関する防犯講話を実施した。
イ　管内所在の演芸場との協働
・　デザインを共同で考案した特殊詐欺被害防止ポスターを、駅などの人目に付きやすい場所に掲示している。
・　商店街において花魁道中を実施し、多くの見物客に対して被害防止広報を実施した。
・　特殊詐欺を題材とした大衆演芸を披露していただいた。
等、大々的にキャンペーンを実施した。
ウ　高齢者安心センターとの協働
同センターと連携し、固定電話へのナンバーディスプレイ等の申込みを促進する活動を実施している。

3　１１０番通報の現状と対策について
（1）令和4年中の都内及び当署の１１０番受理件数や、当署が受理した１１０番のうち、件数が多い内容やその対応
（2）緊急ダイヤルである１１０番、相談ダイヤルの＃９１１０

4　当署管内における交通事故発生状況について

5　指定重点犯罪等の発生状況について
（1）当署における指定重点犯罪の発生状況
（2）特殊詐欺事件被疑者の検挙状況、特殊詐欺の未然防止状況

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

1　署長から協議会への説明内容
（1）重大交通事故防止対策の強化推進について
ア　当署管内の人身事故の発生件数は昨年比で増加しており、重大な結果につながるおそれのある事故も発生している。

イ　梅雨の時期は雨天が多く、視界不良や道路環境の悪化等、事故に直結するような悪条件の日が増えると予想される。

（２）風水害を想定した各種対策の推進について

ア　梅雨の長雨、猛暑期のゲリラ豪雨、台風等による住居や道路の浸水や河川の氾濫等で、甚大な被害の発生も予想される。

イ　当署では、災害から管内住民を守るための各種対策を推進し、自助・共助・公助の意識を広めるため、あらゆる機会を利用して管内住民に指導・教養を実施している。

ウ　署員が様々な災害に対応できるよう、各種訓練を実施していく必要がある。

２　警察署協議会からの意見要望等

（１）重大交通事故防止対策の強化推進について

自転車で傘差し運転をしている人を見掛けるが、梅雨に入ると傘差し運転が増えて危険である。また、自転車で車道を通行するときは、道路脇に駐車車両があると非常に怖さを感じる。

こうしたルールを守らない人たちを注意したり、取り締まったりして、重大交通事故を防止してほしい。

（２）風水害を想定した各種対策の推進について

王子署管内は土地の低い場所が多く、そういった地域では大雨等による被災への危機感がある。

その反面、風水害と震災では避難場所が違うことを理解していない住民もいるので、警察で実施している各種キャンペーンの際は、様々な災害による被害を想定したパンフレットを渡したり、各町会に避難場所を周知させたりして、強力に風水害対策を推進してほしい。

[その他の意見要望等]

夏になると児童公園周辺の樹木が生い茂り、特に、公園と道路の間の植栽が伸びると道路から公園内が見えづらくなり、子供が犯罪に巻き込まれる恐れもある。

警察から区に対して申し入れを行ってほしい。

その他	令和５年度第２回会議は、令和５年９月開催予定

※　詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和０４年度　第４回　王子警察署協議会　議事概要			
開催日時	令和０５年０２月２４日　午後03時20分～ 午後05時00分		
開催場所	王子警察署　第一会議室	出席者	協議会委員　9名 署長ほか　2名
内　容			

[業務説明]

1　前回協議会で出された質問への回答
「尾長橋トンネルのような地下を通行する箇所は、豪雨等で冠水したことはないのか。また、トンネル内に流れ込んだ水の排水環境はどうなっているのか。」との質問に対して、道路管理者に確認したところ、今まで尾長橋トンネルが冠水したとの情報はなく、排水については、ポンプを稼働して下水に放流しているとの旨を説明した。

2　自転車安全利用五則の周知と重大交通事故防止対策の強化推進について
（１）自転車安全利用五則を一つずつ説明し、周知させるために広報啓発を推進している旨を説明した。
（２）交通違反をした自転車による事故事例について説明し、違反以外でも、マナーの悪さによる事故や、ハンドル操作の誤りなど自転車の特性を知らないために起こる事故も多数発生している旨を説明した。
（３）都内及び当署管内の事故発生状況と自転車関与率、当署管内の事故の特徴について説明し、今後も天候による道路環境の変化や自転車の特性について自転車利用者へ周知していく旨を説明した。
（４）署員を小学校に派遣し、模擬信号機、横断歩道、駐車車両などを活用するなど、実際の道路を想定した安全教育を実施し、自転車に関する効果測定を実施した旨を説明した。
（５）交通少年団の一日研修において、行き帰りのバス内で腹話術人形やＤＶＤを活用した交通安全教室を実施した旨を説明した。
（６）自転車安全利用五則のうち、自転車利用者のヘルメット着用を周知するため、自転車交通事故防止キャンペーンにより自転車利用者に対し呼び掛けを実施した旨を説明した。
（７）交通課窓口等への来署者を対象に、当署１階ロビーに自転車用のヘルメットを展示し、ヘルメット着用の呼び掛けを実施している旨を説明した。
（８）管内に所在するスーパーマーケットに自転車安全利用五則のポスターを掲示した。また、ホームセンターでは店内放送を活用して広報を実施している旨を説明した。

3　特殊詐欺の発生状況と対策の推進について
（１）昨年一年間の特殊詐欺の手口別認知件数が前年比マイナスであった旨を説明し、今後も各種対策を実施する旨を説明した。
（２）「北区・練馬区・板橋区内警察署合同特殊詐欺被害防止キャンペーン」を実施し、お笑い芸人によるトークや被害防止広報、広報啓発チラシの配布など、多くの防犯ボランティアが参加し盛況であった旨を説明した。
（３）王子駅前交番に電光掲示板を設置し、特殊詐欺被害防止をはじめとする各種広報啓発活動を実施した旨を説明した。
（４）今年から特殊詐欺の手口に加わった「サポート詐欺」の手口について説明し、当署では広報啓発チラシを作成し、管内所在のコンビニエンスストア全店舗に対し店内に掲示してもらうよう依頼した旨を説明した。
（５）署内のエレベーター内に「ＳＴＯＰ！ＡＴＭでの携帯電話」のステッカーを掲示し、来署者に還付金詐欺被害防止の広報啓発を実施している旨を説明した。

4　指定重点犯罪発生状況について
当署における指定重点犯罪の発生状況及び特殊詐欺事件被疑者の検挙状況、特殊詐欺の未然防止状況について説明し、引き続き被害防止対策と検挙対策を推進していく旨を説明した。

5　取締り活動ガイドラインについて
取締り活動ガイドラインの見直しについて説明し、意見等を求めた。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

1　署長から協議会への説明内容
（１）子供を当事者とする重大交通事故防止対策の推進について

ア　平成３０年から令和４年の５年間で、歩行者の年齢別死傷者の中で最多なのは７歳の子供という統計がある。
イ　子供の交通事故を防止するための施策の一つとして、「通学路安全運転呼びかけ隊」という交通ボランティア団体の拡充を推進していく必要がある。

（２）特殊詐欺の発生状況と対策の推進について
ア　当署管内の昨年一年間の特殊詐欺被害認知件数は３７件で、その詐欺被害総額は約４，５００万円を超えており、本年から新たにサポート詐欺が特殊詐欺の手口に追加されるなど、引き続き厳しい情勢である。
イ　管内住民に特殊詐欺の諸対策や最新の手口を周知し、１件でも被害を防止するために取り組んでいく必要がある。

（３）１１０番通報の現状と対策について
１１０番で受理する通報内容は様々であることから、管内でどのような通報があり、警察官がどのような活動をしているのか知っていただくことで、管内の情勢と警察活動への更なる理解と協力をいただきたい。

以上のことを説明し、意見を求めた。

２　警察署協議会からの意見要望等

（１）子供を当事者とする重大交通事故防止対策の推進について
王子署では今までも小学校などで子供に対する交通安全教室や自転車教室など様々な対策を実施していただいている。これからの時期は小学校に新たに入学する児童もおり、「通学路安全運転呼びかけ隊」の拡充をはじめとする各種対策を推進し、悲惨な事故から子供を守る活動を推進していただきたい。

（２）特殊詐欺の発生状況と対策の推進について
昨年の特殊詐欺の発生件数は前年と比べ減少したものの、まだ多くの発生があり被害額も高額となっている。さらに「サポート詐欺」という新たな手口が加わるなど、犯人たちも様々な手を使って騙そうとしている。今後も住民の安全を脅かす特殊詐欺の被害を１件でも減らせるよう対策を進めていただきたい。

（３）１１０番通報の現状と対策について
王子署管内に住む私たちにとって１１０番通報の現状についてはとても関心があり、事案に対応するためにどのような活動をしているのか知りたい。１１０番通報の現状を分析しながら管内の安全・安心を守るために各種対策を推進していただきたい。

[その他の意見要望等]

１　委員から「町会でスクールゾーンにおける学童擁護活動をする際、王子署から危険箇所等を教えていただくことで、効果的な配置箇所を検討していきたい。」との意見があり、「署で把握した危険箇所等について、随時情報提供していく。」旨を回答した。

２　委員から「サポート詐欺について、パソコンの画面上に警告画面等が出たら、必ず警察に通報するということを啓蒙してほしい。」との意見があり、「あらゆる機会を通じて広報していく。」旨を回答した。

その他	令和５年度第１回会議は、令和５年６月開催予定

※　詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。